



市の花・つつじ 市の木・もくせい 市の鳥・ジュウカウ

今日の主な内容

- 「工業統計調査」にご協力ください … 2面
- 体育館後期スポーツ教室 …… 3面
- 年男年女 …… 3面
- 市民環境大学「福生たんけん・はっけん・ほっとけん講座」 …… 4面

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

迎春 やすらぎ いきいき 輝く街 福生

今年は市制35周年

写真で振り返る市制施行当時の福生

▶現在の福生市街 (福生駅周辺)



◀市制施行当時の福生市街 (昭和45年)



▶当時、現在の田園地区には、まだ田んぼや畑が見受けられました。



▲八高線最後の蒸気機関車

- 昭和45年 福生市の主な出来事
- 7月・市制施行
 - ・福祉会館完成
 - ・第1次長沢遺跡発掘開始
 - 10月・八高線最後の蒸気機関車走る
 - ・福生駅前通りで歩行者天国実施
 - ・第1回市民総合体育大会開催
 - 11月・第1回市民文化祭開催
 - 12月・世界平和都市を宣言

▶市制施行を祝う児童たち



▶福生駅前通り (昭和45年)



昭和45年7月1日、人口38,749人、世帯数11,631世帯をもって市制が施行され、福生市が誕生しました。(町制施行30周年の年でした。)その後、人口は増加し昭和58年9月に5万人、平成3年9月に6万人を超えました。現在は人口61,822人、世帯数28,177世帯(平成16年12月1日現在)となっています。

環境問題を考え、今自分たちでできることをする、例えばごみの減量も、資源を節約する事もそうでしょう。保険や医療や福祉、教育などのために税をきちんと納めることもそうでしょう。また、都市で地震に備えるとすれば、まずお互いに助け合える人間関係を持つことですし、防犯もそこからがスタートです。

自分ひとりでは生きられない社会です。誰かがやってくれるのではなく、自分たちがやること、すなわち皆で環境を変えていくことだと思えます。

次なる35周年に向かって。

昨夏の異常気象や台風など、自然に対する、さまざまな今までの「つけ」が、私たちの生活を脅かしています。転じて国や自治体の財政などに目を向けても「つけ」が見えてきます。

このような時代に目指すべきは、サステナブル・デベロップメント(持続可能な発展)でしょう。

さて、今は激動の時代です。既成の概念のうち良いものは残し、間違いは正す。そのことが国においても、自治体においても激しく行われています。

あけましておめでとうございます。今年が、皆様にとって素晴らしい年になりますようにお祈りいたします。

福生市はおかげさまで7月1日で35周年を迎えます。人口3万人で市制施行する特例市として生まれてから、多くの先人の努力によって今日があります。お礼を申し上げますとともに、更なる発展に向けて総力を挙げて努力してまいります。

年頭に
あたって
市長 野澤久人

